

編 集 後 記

日本中を混乱に陥れ、多くの人々から平穏無事を奪った東日本大震災と福島原発事故の発生から1年が過ぎました。被災された方々には一刻も早く元の暮らしに戻って頂けることを切に願うと同時に、日々の生活に必要なエネルギーにおける方策が早期に確立されることを強く望むところです。

平成23年度の（第8回）広島大学技術センター研修会では、先に述べた原発事故を受け、大学院工学研究院の静間清教授よりその背景と放射能測定についてのご講演を、また、持続可能な次世代エネルギーに関して、同研究院の早川慎二郎准教授より X 線分析用リチウム2次電池評価セルの開発についてのご講演をそれぞれ賜り、抄録を頂きました。さらに、同研究院の西田恵哉教授には、当研修会前日に恩師の先生が亡くなられたためご参加頂けなくなりましたが、ご講演予定でありましたバイオディーゼルの特性と今後の動向についてのご抄録を頂きました。先生方には、当研修会基調講演ならびに本報告集のために抄録原稿をご提供頂きましたことを、ここに重ねて御礼申し上げます。

他方、当研修会における技術職員の口頭発表は、その分野が多岐にわたることはもとより、技術的な専門性が高く例年の水準を上回る内容でした。さらに、技術職員が関係する施設等（東広島キャンパス内）の見学会も、前年度（第7回）の研修会（霞キャンパス開催）と同様に開催されました。これらの各報告に加えて、例年募集している技術報告、および学内講習会等の報告も多数ご投稿頂きました。そのため、今号の本報告集は質・量ともに非常に充実したものになったと自負しており、ご投稿頂いた技術職員の皆様にも御礼申し上げる次第です。

最後になりますが、技術職員への期待について本報告集にご寄稿頂いた西嶋渉環境安全センター長、さらに、定年を迎えるに当たりメッセージをご寄稿頂いた木野村愛子技術専門員に、厚く御礼申し上げます。また、山本陽介技術センター長、勇木義則技術統括をはじめ本報告集の発行にご協力頂いた技術センター構成員の皆様にも、深く感謝いたします。

平成23年度技術センター報告集編集 WG

委員長	三原 修	（共通機器部門）
副委員長	畠山 照彦	（医学系部門）
委 員	坂下 英樹	（共通機器部門）
	野口 靖祐	（工作部門）
	積山 嘉昌	（フィールド科学系部門）
	桂 由香理	（医学系部門）